

熱中症予防に夏トマト

岐阜市 カネ井青果でフェア



トマトの試食でにぎわう「夏トマトの日フェア」＝岐阜市橋本町、カネ井青果アクティブG店

「夏トマトの日」(8月8日)に合わせ、全国農業協同組合連合会岐阜本部(JA全農岐阜)などは同日、岐阜市橋本町のカネ井青果アクティブG店で夏秋トマトをPRする「夏トマトの日フェア」を開き、旬を迎

えた岐阜県産と福島県産のトマトを目当てに大勢の来店客でにぎわった。

夏トマトの日は、県内で生産の盛んな夏秋トマトをPRしようと、JA全農岐阜が日本記念日協会(長野県)に申請し、昨年認定された。フェアは、同店とJA全農岐阜が、収穫の最盛期を迎えた夏秋トマトの消費拡大を目的に企画した。

店頭では、岐阜県産の加子母トマトと福島県産の南郷トマトを販売。輪切りにしてドレッシングをかけたトマトの試食イベントもあったほか、来店客には「夏トマトの日」をアピールするうちわが配られた。

カネ井青果の藤井雅人社長は「この暑い時期、トマトは血液をさらさらにする効果があるので熱中症予防に

ぜひ食べてほしい」と話した。フェアは、同社のアステイ大垣店(大垣市)と瑞穂店(名古屋市中区)など計5店で開催した。(田中純太郎)